

特集

水戸城二の丸角櫓完成

6月27日(日)から公開します

問合せ／歴史文化財課(☎306-8132)

水戸駅北口から撮影

市民協働の歴史まちづくり

市では、水戸城跡周辺を、多くの人が集い歴史を感じることでできる場とするために、市民の皆さんとともに歴史まちづくりを推進しています。その一環として歴史的建造物の復元整備を進めてきました。令和元年度に完成した大手門に続き、二の丸角櫓を6月27日(日)から公開します。市民運動から始まった弘道館・水戸城跡周辺整備が、いよいよ完了します。

二の丸角櫓とは

江戸時代、水戸城には4つの物見櫓がありました。いずれも二層の櫓の左右に一層の櫓が接続する、上から見るとL字型の櫓でした。

そのひとつである二の丸角櫓があったのは、二の丸の南西の角、現在の水戸駅北口から見える場所です。当時と同じ場所に、発掘調査や古写真などをもとに復元しました。

みんなの想いをカタチに

現場監督を務めた柏崎建雄さんは「一般の建造物と違い、図面に載っていないことも多く、最初は苦労した」と話します。

復元整備では、徹底的に当時の工法にこだわります。どうすれば正確に復元できるか、職人たちと日々検討を重ねました。

「水戸城に愛着を持って活動を続けた地元の皆さん、こだわりと誇りを持って作業した現場の職人たち―多くの皆さんの想いがつまっている。完成した時は、感動はもろろんだが、ほっとしたという安堵の気持ちもあつた」と振り返ります。

美しさと精密さに注目を

外観上の特徴は、瓦や腰板など以外は、漆喰で覆われた大壁という仕様です。柏崎さんは「白さや美しさを現地で見ている」と話します。

建物の足元にも注目です。さまざまな大きさの礎石に合わせ、木材をびったりと加工する、ひかり付けという工法が用いられており、職人の腕を感じるることができます。

周辺も合わせて巡ろう

二の丸角櫓内部では、水戸城に関する映像や資料を展示します。復元整備した大手門・角櫓以外にも、水戸城跡周辺には見どころがたくさんあります。詳細は、次ページをご覧ください。



(左から)現場監督を務めた柏崎建雄さん(株木建設)／ひかり付けされた礎石と木材。角櫓の前には発掘調査で出土した当時の礎石も展示してあります／漆喰で覆われた外見



水戸東武館

弘道館の剣術指南役だった小澤寅吉が創設した道場。北辰一刀流などを今に伝えます。

水道低区配水塔

下市地区へ水道水を供給する施設。昭和7(1932)年に完成し、平成11(1999)年まで稼働していました。

水戸城大手門

水戸城の正門にあたる最も格式の高い門です。令和元年度に復元整備が完了しました。



水戸城跡周辺は見どころたくさん



MITOGAKU QUEST 水戸学の道クイズラリー

クイズを解きながら水戸城跡周辺を巡りませんか。全問に答えると、記念品がもらえます(先着順)。台紙配布場所/水戸観光案内所、弘道館、二の丸展示館など ※詳細は、水戸観光コンベンション協会ホームページ(<https://mitokoumon.com>)をご覧ください。観光課(☎232-9189)にお問合せください。



天然の要害・水戸城
水戸城は、鎌倉時代の頃に馬場氏によって築城された後、江戸氏、佐竹氏、水戸徳川氏が城主となり、拡大整備がなされました。
特徴は、自然地形を巧みに利用した、石垣をもたない土づくりの城であることです。北を那珂川、南を千波湖に挟まれた馬の背状の台地を、堀と土塁で、下の丸、本丸、二の丸、三の丸の4つの曲輪(区画)に分けています。城域は東西約1200m、南北最大約400mに及び、土づくりの平山城としては日本最大級です。

水戸城三の丸につくられた藩校 弘道館

水戸藩第九代藩主徳川斉昭公が建学した日本最大級の藩校です。徳川慶喜公も幼少期に弘道館で学びました。
開館時間/午前9時~午後5時 ※10月1日~翌年3月31日は午後4時30分まで(梅まつり期間は午後5時まで)。
休館日/12月29日~12月31日
料金/400円 ※小・中学生と70歳以上の方は200円。未就学児は無料。

学問・教育に力を入れた斉昭公は、重臣の屋敷を移転させてまで、水戸城三の丸の地に弘道館を建学しています。藩庁のある二の丸と隣接させることで、建学の精神のひとつ「治教一致」を具体化したのかもしれませんが。

また、弘道館のように広い堀と高い土塁に囲まれた藩校は、全国的に珍しいです。まさに城内にある藩校ならではの特徴といえます。大手門・二の丸角櫓が復元整備



主任研究員 小坪のり子さん

されたことで、水戸城内にある藩校であることを、イメージしやすくなったことと思います。貴重な文化遺産である弘道館・水戸城跡を、多くの市民の方に誇りに思ってもらいたいです。



水戸城二の丸角櫓

水戸城の歴史や概要など映像や資料を展示しています。復元整備のきっかけとなった城門も見ることができます。
※6月27日(日)から公開します。新たに開通する、附属小と水戸三高の間の通路を利用してください。
時間/午前9時30分~午後4時
※年末年始は休館。
料金/無料



水戸城跡二の丸展示館

日本遺産「近世日本の教育遺産群」や、水戸城について展示しています。また、12月26日(日)まで、渋沢栄一と水戸の人々との関わりを紹介するパネル展も行っています。
時間/午前9時~午後4時30分
※年末年始は休館。
料金/無料



展示館にいらっしゃる方に対して、案内をしています。水戸城の模型もあるので、江戸時代の様子を想像していただけます。多くの方に、その目で水戸城の姿を見てほしいです。
歴史アドバイザー水戸 白石栄子さん

義公生誕の地

水戸藩第二代藩主徳川光圀公(義公)が誕生した、三木家の屋敷跡です。



水戸城薬医門



佐竹氏が整備したと推定されています。貴重な現存遺構です。

元和7(1621)年に、水戸藩初代藩主徳川頼房公が創建。当時の社殿は水戸空襲で焼失してしまいましたが、昭和37(1962)年に再建されました。

水戸東照宮

